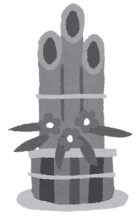




# 新年のごあいさつ 2023



白老町議会議長 松田謙吾



白老町長 戸田安彦

新年あけましておめでとう、ごさいます。  
新春を穏やかに迎えのことと心よりお喜び申し上げます。  
新型コロナウイルス感染症の終息が見えず、コロナ禍への対策に苦慮しています。11月半ばには道内の人約520万人のうち感染者が100万人を超え、5人に1人の感染になつていると報道されています。  
コロナワクチンについては5回目の接種がはじまり、重ねてインフルエンザの予防接種等、命を守るため連日懸命に対応していただいている医療機関の医師、看護師、関係スタッフの皆様から有難く感謝しなければなりません。  
昨年を振り返ると、4月1日には成人年齢が20歳から18歳に引き下げ

られる大きな制度の改革がありました。  
また、白老町では4月16日には町内で鳥インフルエンザが発生し、道内最大となる52万羽が殺処分され、自衛隊や道内自治体の支援により、感染の拡大が最小限に抑えられたことなどもありましたが、昨年は特に夏、秋頃から原材料や燃料など、物価の高騰が広がり家計を圧迫しており、町民誰もが物価の安定と対策を望むものであります。  
そのような中で12月8日の新聞では、白老町立病院内の介護老人保健施設きたこぶし内で発生した入所者への虐待という大変心の痛む残念な報道がされました。4月から10月にかけて、複数の職員による入所者への不適切な身体拘束などの身体的虐待

りや暴言を吐くなどの心理的虐待が認められ、北海道から介護保険法に基づく改善勧告を受け、また、警察も経緯を調べていると報道されました。高齢者が安心安全で利用できる施設のはずが警察沙汰になり、施設の運営責任者は全ての町民が安心してきる正常な施設に1日も早く立て直すことを望みます。  
さて、11月29日に現職町長が辞職を発表し、新年早々、任期約10カ月を残し1月中旬に正式に辞職となり、白老丸の船長不在の50日以内に新たな船長を選出しなければなりません。  
本年は3月の町長選挙、4月の道議会議員選挙、10月の白老町議会議員選挙と3度の選挙があり、コロナ禍の中、公平で公正な民意が試される選挙であることを期待します。

新年明けましておめでとう、ごさいます。  
新年の始まりを迎えるにあたり、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。  
新型コロナウイルスによる不安と緊張の日々が続く中、日頃から感染拡大防止にご協力をいただき感謝申し上げます。  
昨年は、温泉旅館「界ポロト」の開業や大型客船「ばしふいっくびいなす」「につぼん丸」の寄港、仙台藩白老元陣屋資料館の「北海道遺産」選定など、白老の魅力により多くの皆様を感じていただける機会に恵まれたところであります。

町政においても、町立病院改築事業者を決定し、基本協定書の締結に基づき本格的に事業着手したほか、物価高騰対策として全町民を対象とした応援商品券の配布による生活支援を進めるなど、時代に即応した行政サービスの提供を目指し、まちづくりに取り組んできた1年となりました。  
さて、本年は、動き出す人の流れの取り込みによる地域経済の復活や混沌とする社会における閉塞感を打開し、「共に築く希望の未来」しあわせ感じる元気まちの実現に向けた施策の展開を加速させ、町民の皆様

の安全安心を第一とするまちづくりを推進してまいります。  
コロナ禍という先の見えないう状況が続きますが、ふるさと白老が将来にわたり希望にあふれ明るい未来を切り拓くことができるまちと、町民の皆様が実感していただけるよう全力を尽くしてまいります。  
結びになりますが、本年も町政に対する変わらぬご厚誼を賜りますとともに、皆様にとって幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。  
新年のご挨拶とさせていただきます。